

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年1月27日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機液体プロセス放射線モニタ記録計(B)の動作不良について】 当直員が、5号機中央制御室制御盤のパトロールにて、液体プロセス放射線モニタ記録計(B)のエラー表示および記録紙の紙送りがずれていることを確認。 記録紙の紙送りを調整後、当該記録計の電源を入れ直したところ、記録計の指示値は下限値を示したままで復帰しなかったことから、記録計が故障していると判断。 当該記録計で記録している海水出口放射線モニタ(A)(B)、原子炉補機冷却系ポンプ入口放射線モニタ(C)の指示値は、中央制御室の各モニタ本体で確認出来ており、監視に影響なし。 今後、点検・修理予定。</p>	GⅢ	1月21日
2	<p>【増設多核種除去設備(B)吸着塔(5B)排気弁の操作困難について】 協力企業社員が、停止中の増設多核種除去設備(B)で実施している吸着塔の水素滞留防止のための排気操作にて、吸着塔(5B)の排気弁の手動開閉操作時に弁操作ハンドルの動きが悪く、操作が困難なことを確認。 排気については他の排気弁にて操作が可能であり、影響なし。 今後、当該弁を交換予定。</p>	GⅢ	1月22日